

いま、大切なこと

技術センター 石佐古早実

大学を取り巻く環境が益々厳しくなるなか、最も大切なことは、我々、技術職員が何をすべきか、できるかを真剣に考え、取り組むことと考えます。個々が持つスキルを更に高めることに加え、同様なスキルを持つ者同士がそのスキルを共有し、異なる分野ではあるが連携できる部分があればそのスキルを融合するなど、協働することで新たな支援形態が生まれることにもなります。そうすると、教育・研究支援に携わる者として重要度が増します。これまで以上に必要とされる職員となるよう、向上心を持って一歩ずつ、着実に歩みましよう。

今年も、当センターの研修会を開催しました。田中義和先生（工学研究科）のご講演で、技術職員が作製する試験片や治具、大型構造物実験棟での実験について触れられ、感謝のお言葉をいただくとともに、今後も協力をお願いしたいと付け加えられました。技術職員として、とてもありがたく、励みになりました。先生には、お忙しい中ご講演いただき、誠にありがとうございました。

技術職員による発表では、日頃行っている業務内容の紹介で、専門性が高く苦労したことや工夫したことなど、それぞれ業務の内容は異なりますが、真剣に取り組んでいることがよく分かりました。我々の業務は、永年の経験や多くの数を熟したことによって培われた感やノウハウが基になっており、とても複雑な工程を長い時間をかけてようやく達成することもあります。それらは、一つの論文の中ではほんの小さなことかも知れませんが、核となる重要な役割を果たしていると自負しています。この人に、あの人たちに任せれば何とかなる、間違いのないなど、信頼を得る、築くことが重要と考えます。